藤沢市

(2015 年 4 月作成)

藤沢市防災ラジオに関するQ＆A

防災ラジオの概要

Q1　藤沢市の防災ラジオは、どのようなものなのか？

災害からの避難行動を適切に行うためには、迅速な緊急情報の入手が必要です。このためには、防災行政無線を補完する役割を持つ情報伝達手段の導入が効果的なことから、藤沢市では、防災行政無線からの緊急情報を、コミュニティＦＭ放送局であるレディオ湘南のＦＭ放送に割り込ませて放送を行う防災ラジオシステムを構築いたしました。

藤沢市が導入する防災ラジオは、このコミュニティＦＭ緊急割込放送システムに対応した自動受信放送機能を備えた防災ラジオです。

藤沢市防災ラジオの特徴

１．ラジオが待機状態もしくは他局を選局中であっても、緊急情報を受信した際には自動的にレディオ湘南に切り替わり、最大音量で緊急割込放送を聞くことが出来ます。また、緊急情報を受信した際はランプが点滅し、視覚的にも確認することができます。

２．荒天時に屋内にいる人にとって、風雨や建物による反響の影響を受けないため、緊急情報を明瞭に確認することが出来ます。

３．軽量で、乾電池による稼働が出来るため、災害時には避難中でも情報を収集することができます。

４．レディオ湘南以外のラジオ局も選局できるため、平時での使用や災害時に他局の情報も収集することができます。

放送内容について

Q2　防災ラジオではどのような情報を受信することができるのか？

藤沢市の防災行政無線の放送のうち、次のとおり、「津波警報」や「避難勧告・避難指示」等の災害情報や国民保護に関する緊急性の高い情報を放送します。

①　津波注意報、津波警報及び大津波警報
②　気象（大雨、暴風等）特別警報
③　国民保護（テロ、ミサイル発射、武力攻撃等）に関する緊急情報
④　避難準備情報、避難勧告及び避難指示
⑤　警戒区域（立入制限区域、退去命令等）の設定に関する情報
⑥　その他の市民周知が必要な緊急情報や試験放送等

※行方不明者捜索等の防犯放送、公害発生時の情報、戦争犠牲者の慰霊に関する放送及び夕方の音楽チャイム等については、防災ラジオから放送されません。

Q3　毎月の試験放送等はあるのか？

毎月第２木曜日の１３時３０分に、定時の割込試験放送を実施します。

製品・機能について

Q4　既製品なのか、特注品なのか？

藤沢市の防災ラジオは、レディオ湘南から発信される独自の起動信号等に対応する装置を内蔵するため、特別注文により生産される製品です。現在一般の電器店等で販売されている既製品ではありません（一般の電器店等で販売されている既製品のラジオでは、藤沢市からの緊急情報を自動受信できません）。

Q5　防災ラジオの基本機能は？

藤沢市の防災行政無線と連動した、レディオ湘南からの緊急割込放送の緊急情報を自動受信して放送する機能を持ったラジオです。防災ラジオが待機状態となっている場合は自動起動し、他局を選局して聴いている場合はレディオ湘南（８３．１ＭＨｚ）に自動的に切り替わり、放送中ランプ（白色）が点滅するとともに、最大音量で緊急情報が放送されます。

また、平常時はプリセット登録されたラジオ局について、普通のラジオとして使用することが可能です。

Q6　レディオ湘南以外のラジオ局を聴くことはできるのか？

現在、藤沢市の防災ラジオの仕様については、工場生産時に、レディオ湘南を含めてＦＭ・ＡＭ各６局がプリセット登録される機種で、合計１２のラジオ局を選局して聴くことができます。

ＦＭ：レディオ湘南、東京ＦＭ、Ｊ－ＷＡＶＥ、ＮＨＫ・ＦＭ、鎌倉ＦＭ、ＦＭヨコハマ

ＡＭ：ＮＨＫ第１、ＮＨＫ第２、ＴＢＳラジオ、文化放送、ニッポン放送、ラジオ日本

※防災ラジオの機能上、プリセット以外のラジオ局は聴くことができません。

Q7　電池は入れておく必要はあるのか。また、電池が切れたらどうするのか？

平常時はＡＣアダプターを使用し、ご自宅等のコンセントから電源を得ていただきますが、停電となっても受信の待機状態を維持するために、必ず乾電池を入れておいてください。また、乾電池は使用しなくても消耗するため、防災ラジオ前面の「電源ランプ（黄緑色）」が点滅したら、単３アルカリ乾電池４本を入れ替えてください。（電池容量が不足したサインです。約１年に一度、乾電池を交換する必要があります。古い乾電池からの液漏れにもご注意ください。）

Q8　ＡＣアダプターを使用した場合の電気代はどの位か？

コンセントから電源を確保した待機状態での電気代は、１月当たり約３０円程度です。

Q9　乾電池だけでどの位電源は持つのか？

①　ラジオ（音量中位）を聞き続けた場合は、９時間程度。

②　緊急放送の待機状態では、６０時間程度です。

Q10　防水機能となっているのか？

防水機能を有していませんので、雨天、降雪中などの取扱いには十分注意してください。

Q11　留守番電話のような録音機能はあるのか？

現在、藤沢市の防災ラジオについては、録音機能はありません。

Q12　防災ラジオを持ち運びできるか？

持ち運びできます。持ち運びの際は乾電池での稼働になりますので、乾電池の予備をお持ちください（単３乾電池×４本使用、アルカリ乾電池推奨）。
※平常時は、屋内に固定し、ＡＣアダプターを使用してコンセントにつないだ状態での使用を推奨します。

Q13　外部出力端子は付いているか？

付いています。外部スピーカー・イヤホンなどを使用する場合は、「音声出力端子」に接続して使用し、また、緊急割込放送時だけ通電する「接点出力端子」には、赤色灯などを接続してご利用いただけます。
※イヤホンを接続した場合は、本体のスピーカーからは音声は出力されません。緊急割込放送を確実に聞き取るため、使用後は必ずイヤホンを外してください。

Q14　照明灯（懐中電灯）は付いているか？

非常灯機能が付いています。正面の「照明」スイッチの切り替えにより、「放送中ランプ（白色）」を「非常用ライト」として使用することができます。

受信について

Q15　ラジオを「ＯＦＦ」にしておいても緊急割込放送を受信できるのか？

ラジオ放送が「ＯＦＦ」の状態であっても、給電中の待機状態で、かつレディオ湘南の受信状態が正常であれば、緊急割込放送を受信して自動起動します。平常時はＡＣアダプターと乾電池の両方を使用し、**「電源ランプ【黄緑色】」が点灯**して給電中であること確認し、**「受信ランプ」が【消灯】**（正常）であれば、緊急割込放送を受信できる状態となっています。

Q16　緊急割込放送を正常に受信できるか確認したいがどうすればいいのか？

防災ラジオ前面の選局ランプの「レディオ湘南」を選択してください。レディオ湘南の通常放送を正常に受信することができれば、「受信ランプ」が【消灯】し、緊急割込放送を受信した時に自動起動します。

また、レディオ湘南の通常放送が正常に受信できると判断できる放送音声の状況でも「受信ランプ（赤色）」が点滅することがあります。その際は、防災ラジオの自動起動等の確認のため、毎月１回の定時割込試験放送を実施しますので、この機会に正常に起動するかのご確認をお願いします。

Q17　緊急割込放送を受信した後は、どうなるのか？

緊急割込放送を受信した後、防災ラジオは自動的に待機状態、又は緊急割込放送を受信する前に聴いていたラジオ局に自動的に戻ります。もし、何らかの事情により緊急割込放送終了信号を受信できなかった場合でも、オフタイマーの設定があるため、１０分後に待機状態に戻る設定になっています。

キュン♥ 藤沢 するまち。

Q18　うまく受信ができないが？（「受信ランプ【赤色】」が点滅＝受信不良）

屋内では、窓際の方が受信感度が良い場合がありますので、先ず、窓の近くで確認してください。また、防災ラジオに付属のロッドアンテナが十分に伸びているか、ご確認ください（**「受信ランプ」が【消灯】＝正常**）。

アンテナをすべて伸ばしても改善されない場合、又は、元々受信感度の悪い場所でご使用の場合、もしくは機密性の高い住宅（鉄筋コンクリート造等）で、屋内では受信感度が十分得られない場合は、ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）の端子から市販の分配機を介して、市販の同軸ケーブルで防災ラジオに接続していただきますと良好に受信することができます。※１つのケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）端子からテレビと防災ラジオを同時に併用する場合には、市販の分配機を介して複数の同軸ケーブルを接続する必要があります。

また、地上テレビ放送をケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）で受信されていない方（テレビをアンテナで受信されている方）は、市販のＦＭ用外部アンテナ（フィーダーアンテナ等）を接続して受信する方法があります。

※使用する電力、電池の交換、外部アンテナ・ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）等外部接続機器類の設置、故障等不具合が生じた場合の修繕、その他防災ラジオの維持管理に係る経費は使用者においてご負担していただくことになります。

Q19　ＣＡＴＶ端子を利用する時、テレビの電源が「切」でも受信できるのか？

ケーブルテレビ（ＣＡＴＶ）端子から分岐するのは電波だけですので、テレビの電源とは関係ありません。テレビの電源が入っていなくても受信できます。

Q20　聴けるラジオ局を変えることはできるのか？

防災ラジオに設定されているラジオ局は、工場から出荷される時点でプリセット登録設定されていますので、変更はできません。※防災ラジオの機能上、プリセット登録以外のラジオ局を聴くことができません。

アフターサービス等について

Q21　防災ラジオが故障してしまったが？

付属の取扱説明書及び本体裏面に記載の業者にご連絡していただき、メーカーに送付し修理を依頼することが可能です。なお、市役所の納品から１年間の保証期間内の場合は、使用者の故意による破損等と判断される場合を除き、メーカーによる保証修理が受けられます。

保証期間を過ぎた後に故障等不具合が生じた場合の修繕、その他防災ラジオの維持管理に係る経費は、使用者においてご負担していただくことになります。

Q22　耐用年数は？

ラジオ等の音響機器の耐用年数は、通常５年ですが、その使用状況や使用環境に応じて、製品寿命が変わってきますのでご了承ください。また、取扱説明書に基づいて、適切な使用及び管理をしていただくようお願いします。

【お問合わせ先】

藤沢市役所　総務部　防災危機管理室　　電話番号 0466-25-1111（内線 8500）